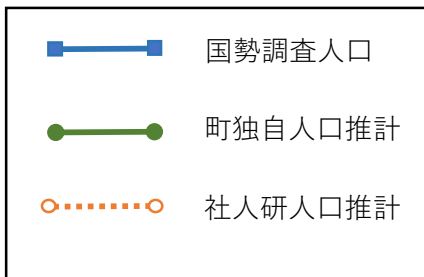
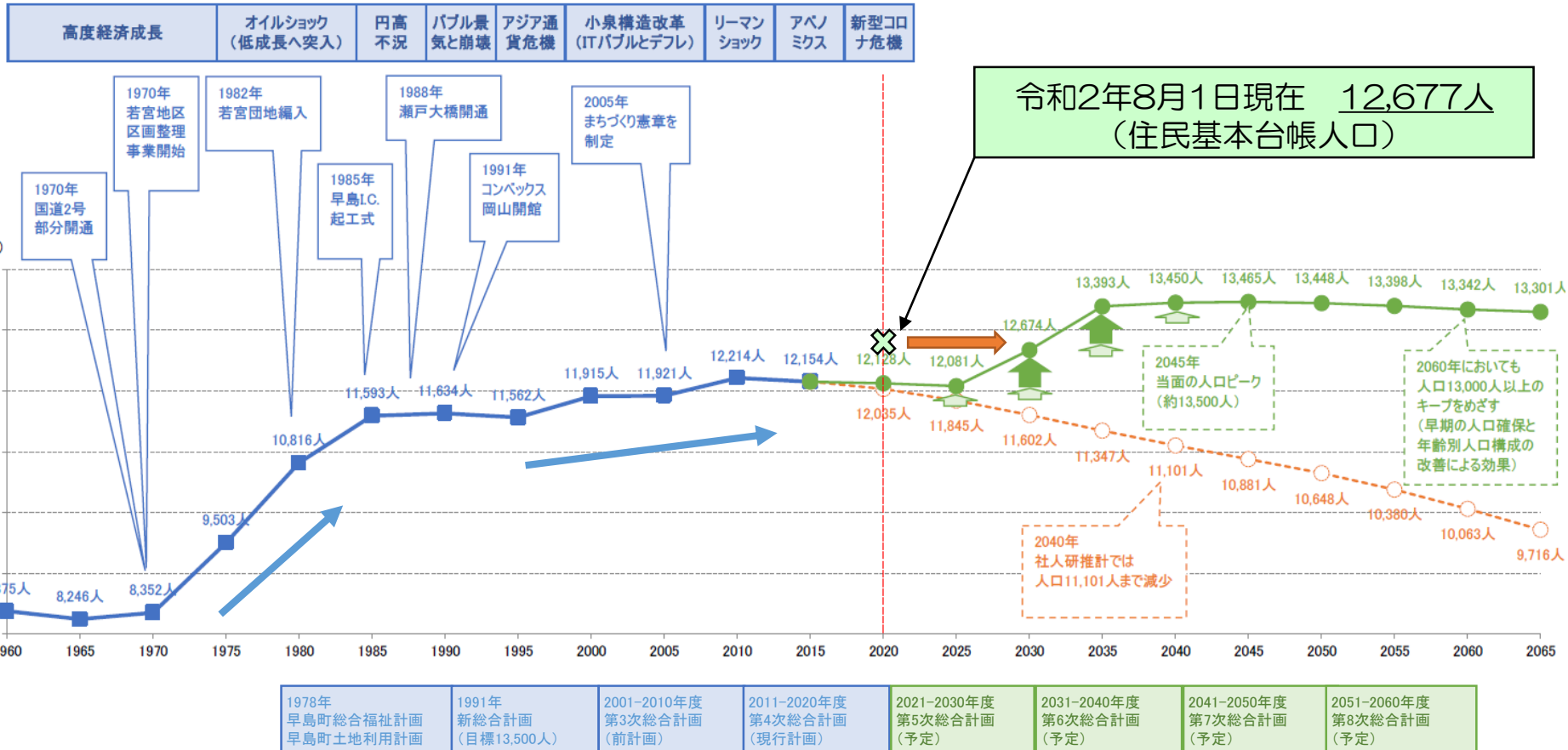


5. 報告

第5次早島町総合計画策定に向けて

(1) 早島町の概要

人口から見る早島町の沿革と今後の見通し



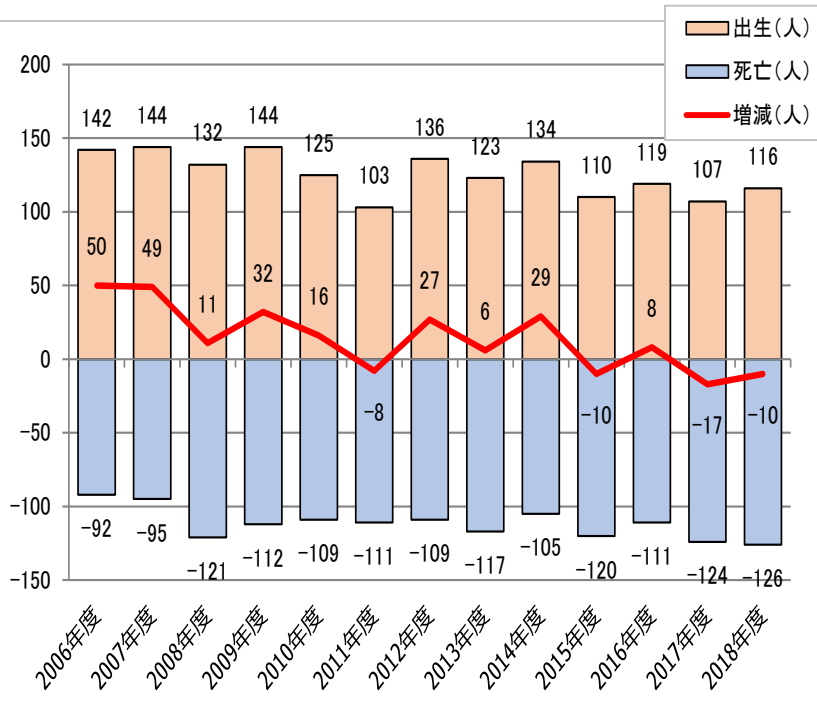
【町独自人口推計条件】

【自然動態：合計特殊出生率の上昇】
結婚、出産、子育て支援への集中的な取り組みにより2035年までに出生率2.10以上を達成、以後2.10を維持。

【社会動態：転入の促進、転出の抑制】
駅周辺における定住環境の形成により2035年までに400世帯1,200人規模の転入を達成。
町内の就業・永住環境の形成により進学・就業時および世帯分離での転出を抑制。
(※出生率の上昇とあわせ、人口13,500人規模の継続条件となる)

データでみる早島町の概要 (1/6)

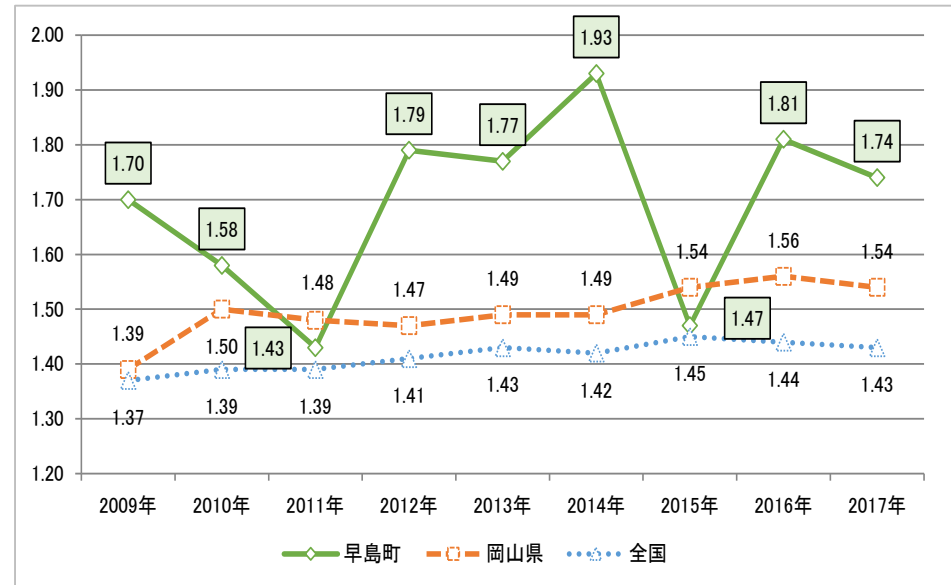
出生・死亡数の推移



資料：住民基本台帳（4月1日時点）

長期的には微減傾向が続いており、**2017～2018年度は自然減**となっています。

合計特殊出生率の推移

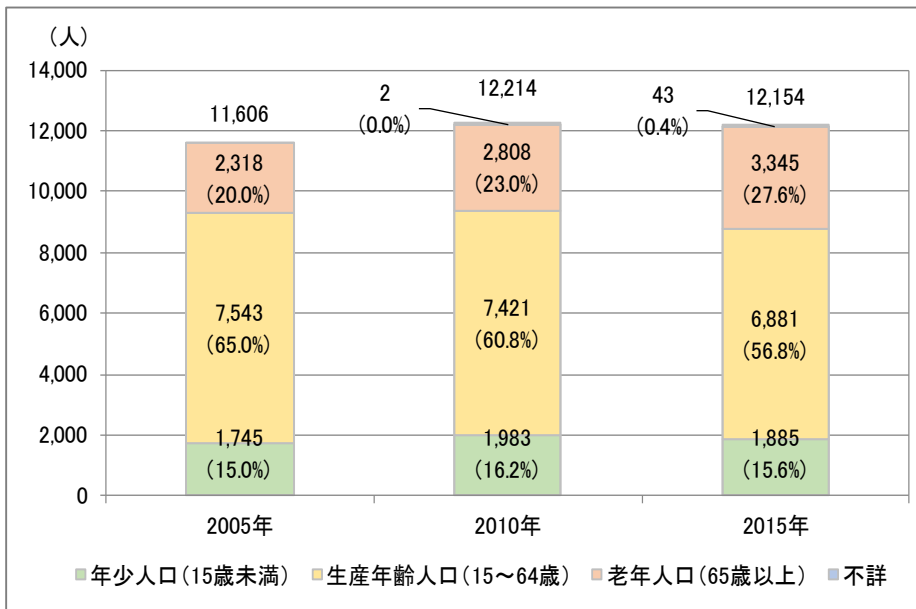


資料：人口動態統計（全国・岡山県）、早島町調べ

2014年と2015年で乱高下していますが、過去5回調査の平均1.74は岡山県に対して+0.22、全国に対して+0.31とおおむね良好です。

データでみる早島町の概要 (2/6)

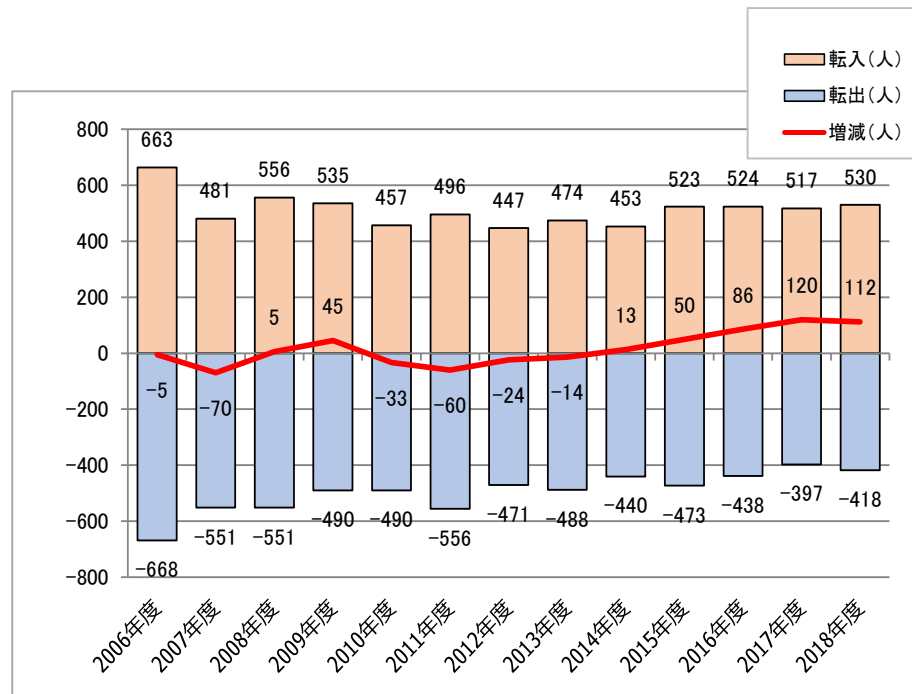
年齢三区分人口の推移



資料：国勢調査

高齢者人口は増加し、生産年齢人口は減少していますが、**年少人口はほぼ横ばい**となっています。

転入・転出数の推移

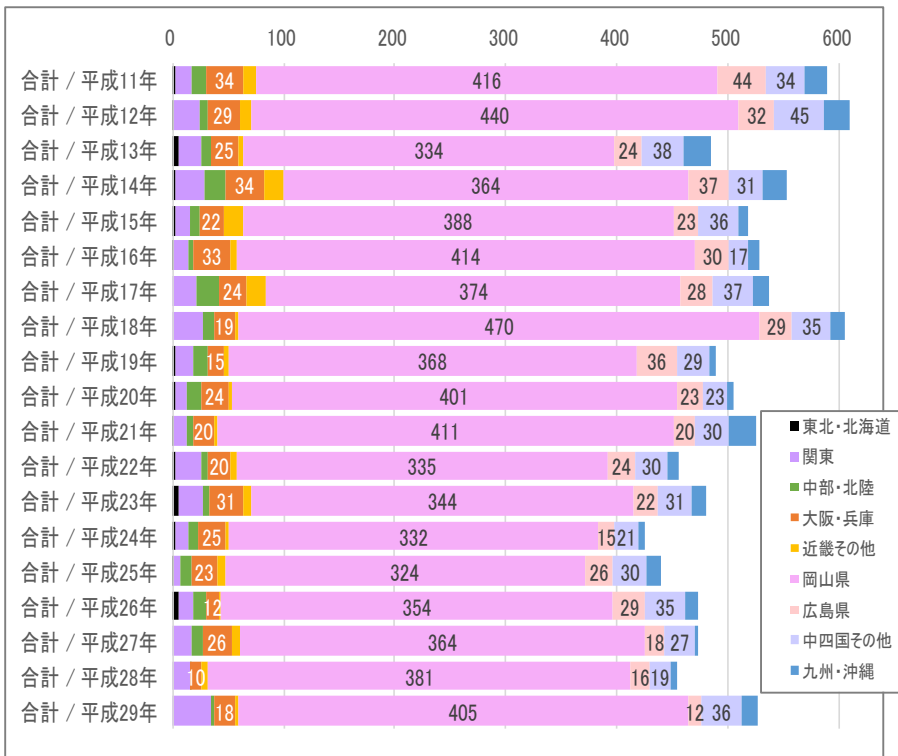


資料：住民基本台帳 (4月1日時点)

2010～2013年度は社会減が続いていましたが、**2014年以降は社会増**となっています。

データでみる早島町の概要 (3/6)

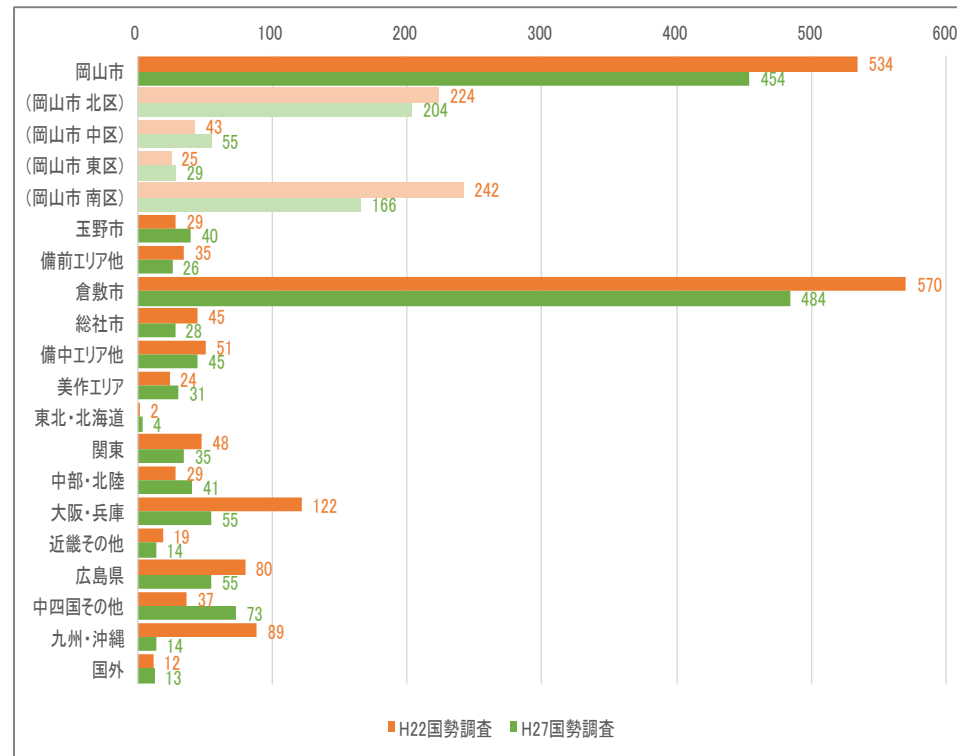
転入者の従前居住地



資料：住民基本台帳移動調査

県内での移動が大多数を占める傾向が続いています。

転入元

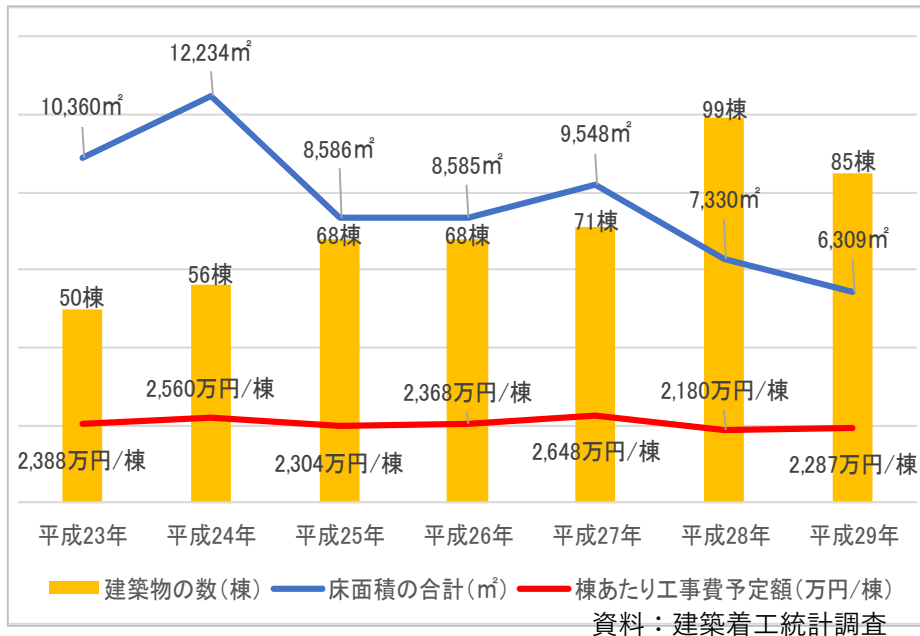


資料：国勢調査

倉敷市からの転入が多く、次いで岡山市（特に北区・南区から）の転入が多くなっています。

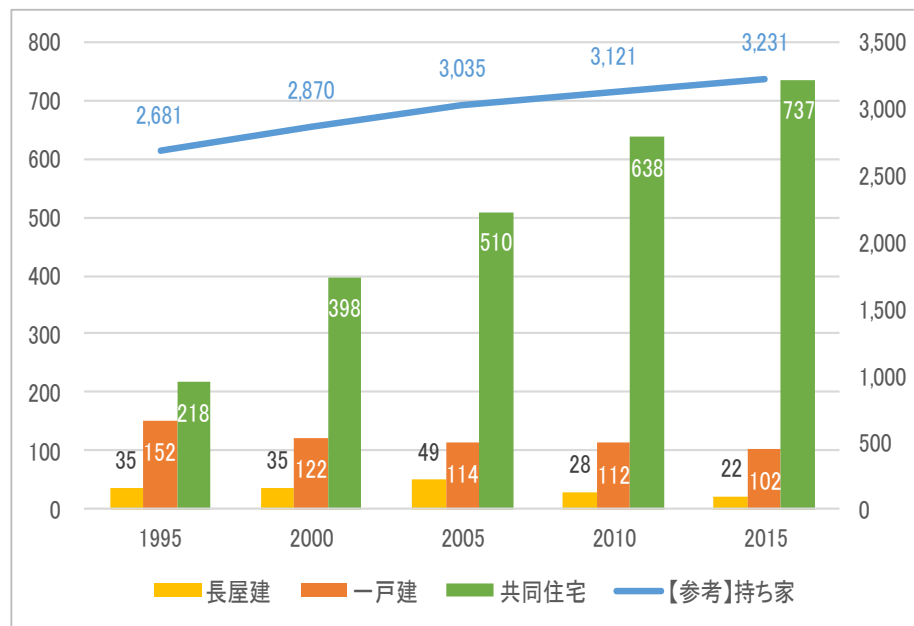
データでみる早島町の概要 (4/6)

住宅新設着工



居住住宅の着工棟数は平成28年まで増加傾向で、平成29年には若干減少していますが、高い水準を維持しています。

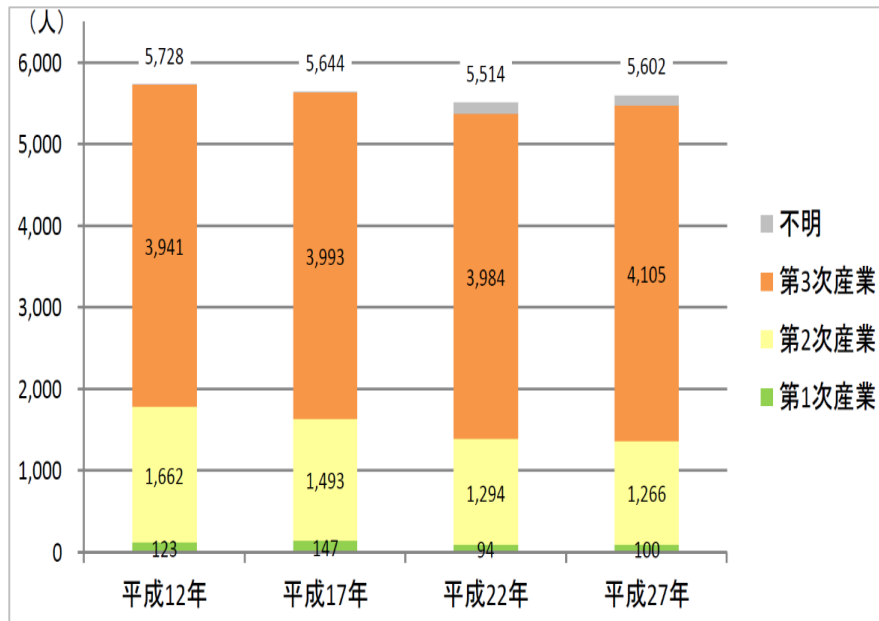
借家に居住する世帯数



借家に居住する世帯は増加傾向にあり、中でも共同住宅（マンション等）が著しく増加しています。持ち家に居住する世帯も増加傾向です。

データでみる早島町の概要 (5/6)

産業別従業人口



資料：国勢調査

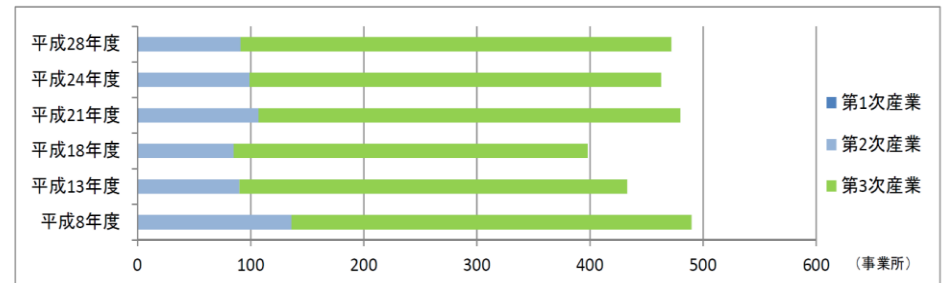
各産業とも若干の増減はあるものの、**大幅な従業人口増減はありません。**

産業別事業所数

(単位：事業所)

事業所数	平成8年度	平成13年度	平成18年度	平成21年度	平成24年度	平成28年度
第1次産業						
農業・林業	-	-	-	1	1	1
漁業	-	-	-	-	0	0
第2次産業						
鉱業	-	-	-	-	0	0
建設業	62	45	46	57	55	51
製造業	74	45	39	49	43	39
電気・ガス・水道業	2	2	-	2	0	0
運輸・通信業	24	25	28	38	41	49
卸売・小売業・飲食店	173	179	168	169	166	171
金融・保険業	4	4	4	4	3	5
不動産業	15	19	16	34	30	28
サービス業	131	111	97	123	124	128
公務	5	3	-	3	-	-
計	490	433	398	480	463	472

資料：経済センサス

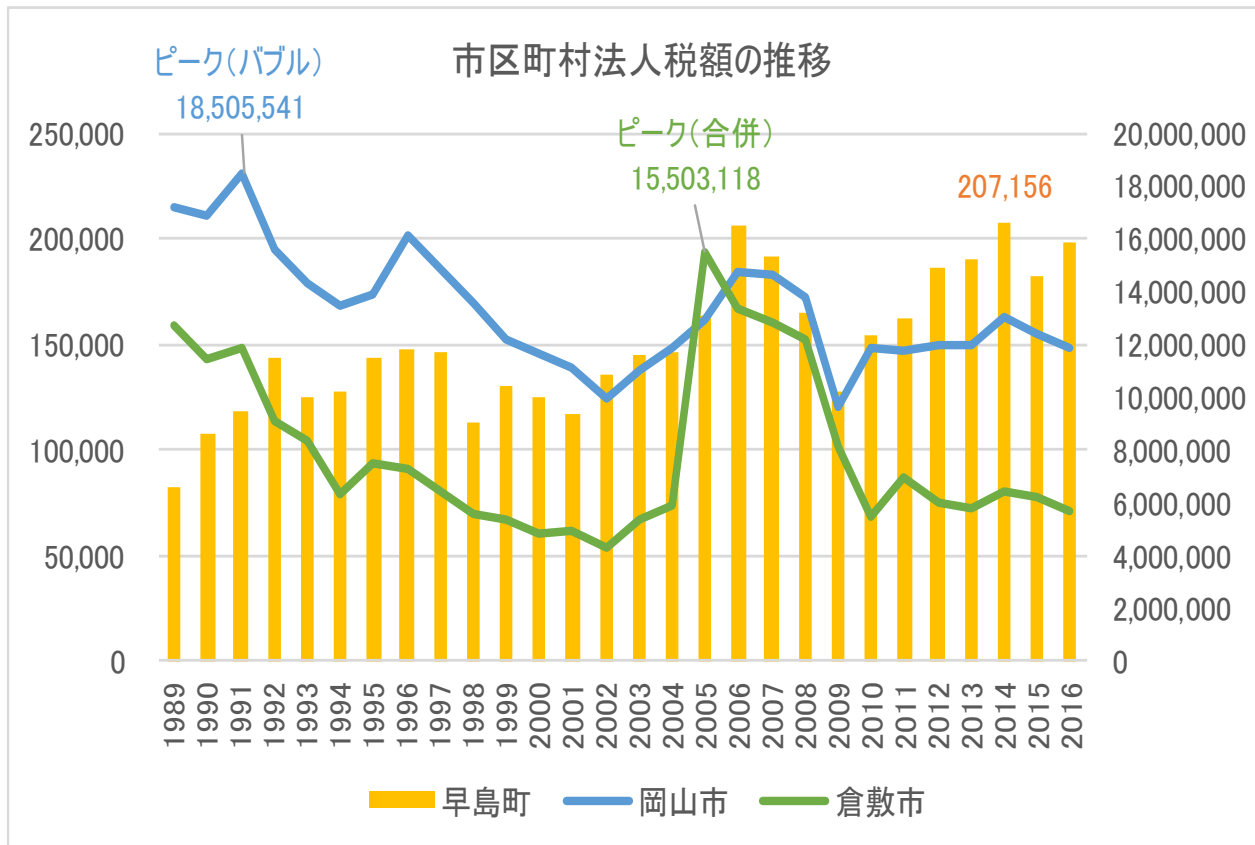


資料：経済センサス

運輸・通信業と不動産業は2倍程度に増加しています。

データでみる早島町の概要 (6/6)

法人税



市区町村法人税額（法人税割・法人均等割の合計）は、**岡山市・倉敷市**が**ほぼ減少傾向**を続けているのに対し、**早島町**では**増加傾向**が続いています。

(2) 計画策定の方針とスケジュール

改訂第4次早島町総合計画 (平成27年3月改訂)

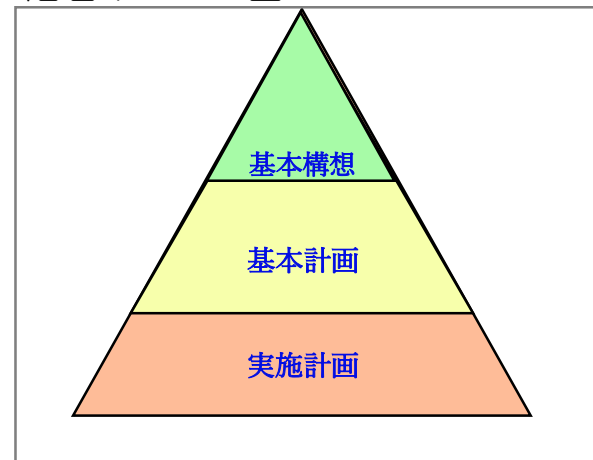
○総合計画とは・・・自治体における全ての計画の基本となる最上位計画

○総合計画の構成

- ・目指すまちの将来像を定める
- ・その目的を達成するための手段である
- ・その手段の具体的な進め方を示す

『基本構想』
『基本計画』
『実施計画』

階層イメージ図



○計画期間

- ・基本構想 10年
- ・基本計画 概ね5年

改訂第4次早島町総合計画は、第4次早島町総合計画の計画期間中に改訂し、新たな基本構想と後期基本計画として平成27年3月に策定しました。

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
第4次早島町総合計画 基本構想				改訂第4次早島町総合計画 基本構想					
前期基本計画				後期基本計画					

早島町をとりまく「情勢」として

(全国において)

■長期的な人口減少見込み

■中期的な福祉・社会保障負担の増加見込み

(本町においては)

■定住・移住や企業進出の需要に応えられない

土地利用の現状

■限られた資源・財源の中での取り組み

現行の総合計画改訂の課題と重点分野

施策の転換方針

「課題」と「重点的に見直すべき分野」

○課題

- 定住魅力都市の実現に向けた課題
- 教育のまち・早島の実現に向けた課題
- 健康都市の実現に向けた課題

○重点的に見直すべき分野

- 定住環境に関する施策
- 子育て支援に関する施策
- 教育に関する施策
- 高齢者福祉に関する施策

現行計画における定住促進施策

■ 便利で快適な定住環境の形成

子育て世代や高齢者が安心して暮らせる安全で快適なまちの実現

(現状と課題)

- ・ 人口が増加していた頃とは異なり、人口減少社会においては豊かな住環境や確かな雇用などの魅力がなければ住むまちとして選ばれない。
- ・ 魅力ある住みよいまちにするには、生活利便向上のため、都市機能を適正に配置することが重要。適正な場所において新たな住宅地を創出するとともに、地域特性をいかしながら、個性豊かな居住環境を形成して、持続可能なまちへと再構築する必要がある。
- ・ 高齢者や子どもなどの交通弱者が不便なく移動（徒歩・自転車・タクシー・バス・鉄道）でき、マイカーを利用しなくても町内や周辺の商業施設で買い物ができる、誰もが快適な日常生活を送ることのできる環境が求められている。
- ・ JR早島駅周辺や町役場周辺では、まちの中心地であるにもかかわらず、まとまった農地が残っている。これらの土地を活用して、医療・福祉・商業・金融などの生活機能を誘導するとともに、町内の他の地域拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実や基盤施設の適切な維持管理などにより、子育て世帯や高齢者が歩いて暮らせる生活空間を形成する必要がある。

➤ 定住促進施策として

- ・ 土地利用の誘導による定住・移住人口の増加
- ・ 地域の特色をいかした持続可能なまちへの再構築
- ・ 歩いて暮らせる生活空間の形成

定住促進施策の展開イメージ

定住促進施策は長期的な取り組みとなることから、改訂第4次総合計画（現行計画）では、第5次総合計画に受け継ぐよう令和12（2030）年に向け施策展開のイメージを示しています。

（総合計画P.29抜粋）

時 期	施策展開のイメージ
平成27～32年度（令和2） （第4次総合計画・後期基本計画）	サービス水準とイメージの向上による転出抑制に努めつつ、人口13,500人を念頭においた基盤整備の準備と制度設計を進めます。
平成33～37年度（令和7） （ <u>第5次総合計画・前期基本計画</u> ）	都市基盤の整備と各種制度の展開を進めつつ、次期総合計画において新しいまちの枠組みを検討・提示します。
平成38～42年度（令和12） （ <u>第5次総合計画・後期基本計画</u> ）	整備された都市基盤への人口定着を図りつつ、次期総合計画の都市像の実現、新しい課題への対応を進めます。

定住促進施策の方策

公共交通の利便性をいかした、
“住んでみたい” 新たな住宅地の形成



- ・ JR早島駅及び役場周辺は、通勤・通学の利便性と行政機能の集積をいかし、**重点的に定住の促進を図る地区**として、コンパクトで暮らしやすい住空間を形成
- ・ JR早島駅周辺を「町の顔」として整備

■ 新定住促進地区を設定

「新定住促進地区」のイメージ

改訂第4次早島町総合計画が目指す、

町全体を牽引する「新定住促進地区」のイメージ図

■ 新定住促進地区とは

- ・ JR早島駅周辺や役場周辺、計画道路の沿道で、新たな住まいや暮らしに便利な施設が立地しています。
- ・ 歩いて暮らせる環境を求めて、町の内外から移り住む人が増えています。

交通結節点としての機能だけでなく、まちの顔として整備し、賑わいの創出に努める

早島駅

《計画道路》

役場

ゆるびの舎

《計画道路》

- ・ 新定住促進地区の骨格となる道路
- ・ まち中を東西に通る県道倉敷妹尾線のバイパス
⇒ (整備されると)
東西方向に通過する自動車をまち中から排除

改訂第4次総合計画の検証

現時点での大まかな検証としては

① 計画期間中の総人口の推移（住民基本台帳：基準日4月1日：人）

改訂第4次早島町総合計画の計画期間

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
総人口	12,306	12,291	12,222	12,224	12,214	12,249	12,287	12,379	12,484	12,588	12,637

目標人口12,500人を2年前倒して達成

② アンケート（R1）結果

・ 定住意向の推移

年度	H22	H28	R1
定住意向	86%	89%	93%

非常に高い定住意向

・ 基本28施策に対する満足度の推移（H28→R1）

上昇：25施策 減少：1施策 回答項目無い：2施策

・ 改訂で重点化した施策の評価

子育て、教育、高齢者福祉の分野において、全てで満足度が上昇

③ 各種施策の検証

・ 現在職員で作業中（第2回審議会で報告予定）

第5次早島町総合計画策定の基本的な考え方

現行計画は、計画期間内の人口推移及び町民アンケート調査から、子育て環境・教育環境・高齢者福祉の充実、良質な住環境の整備を重点的に施策展開した結果、良好な成果が得られたと考えています。



- 引き続き、自立して存続できる持続可能な人口構成への転換が必要であり、そのためには、土地利用の誘導による若者の定住・移住促進は主要な課題となる。
- 第5次総合計画は、現行計画の各種施策の検証（進行管理）の上、継続性を重視し策定する。

(3) 町民アンケートの結果概要 について

総合計画の基本施策に対する満足度推移（町民アンケート）

改訂4次総合計画 基本施策			H22→H28変化	H28→R1変化	アンケート回答項目	H22満足度	H28満足度	R1満足度	
基本目標	基本施策								
潤いと活力が暮らしを彩るく （つろぎのまち）	11	良好な定住環境の形成	0.08	0.04	日常の交通の便	3.03	3.04	3.07	
		日常の買い物の便	2.85	3	3.05				
		12	公園・広場の充実	▲0.30	0.15	公園や緑地の整備状況	3.43	3.13	3.28
		13	雇用環境の向上	0.03	0.21	町での就業の場	2.51	2.54	2.75
		14	流通産業の振興	0.03	0.21	町での就業の場（再掲）	2.51	2.54	2.75
		15	商業・観光の活性化	0.15	0.05	日常の買い物の便	2.85	3	3.05
		16	営農環境の維持	0.03	0.21	町での就業の場（再掲）	2.51	2.54	2.75
安心を支えるまち	21	環境保全・美化の推進	▲0.22	0.2	公害（騒音・振動・悪臭など）への対策	3.13	2.87	3.12	
		ごみ収集の状況	3.95	3.77	3.91				
		22	適正な土地利用の展開	▲0.21	0.12	公園や緑地の整備状況（再掲）	3.43	3.13	3.28
		23	都市基盤の整備	▲0.37	0.06	地震・火災など災害からの安全	3.2	2.84	3.17
		24	災害の備えの充実	▲0.11	0.08	道路の整備状況	3.29	2.92	2.98
		25	交通安全対策の充実	▲0.33	0.03	地震・火災など災害からの安全（再掲）	3.2	3.09	3.17
		26	防犯対策の推進	▲0.08	0.19	道路・交通の安全	3.22	2.89	2.92
う人づくりのまち	31	防犯対策の推進	▲0.08	0.19	犯罪・風紀などの安全	3.22	3.14	3.33	
		32	消費者の安心支援	▲0.08	0.19	犯罪・風紀などの安全（再掲）	3.22	3.14	3.33
		33	学校教育の充実	▲0.14	0.3	子どもの教育施設	3.38	3.24	3.54
		34	社会教育の充実	▲0.15	0.29	教養を高める機会	3.26	3.11	3.4
		35	文化・芸術の振興	▲0.16	0.26	教養を高める機会（再掲）	3.26	3.11	3.4
		36	地域資源の保全・活用	▲0.26	0.17	芸術・文化活動の場や機会	3.44	3.28	3.5
		37	スポーツ・レクリエーションの振興	▲0.19	0.25	観光PRなどの情報発信、町外との交流の場	3.04	2.78	2.95
暮らしを豊かにいきいきと （暮らしのまち）	41	スポーツ・レクリエーションの振興	▲0.19	0.25	スポーツ、レクリエーション活動の場や機会	3.41	3.22	3.47	
		42	地域の保健・医療・福祉の推進	0.02	0.13	病気やけがの時の医療機関	3.35	3.46	3.52
		43	子育て支援の充実	▲0.13	0.3	生活習慣病予防などの保健の取組み	3.31	3.24	3.44
		44	高齢者福祉の充実	0.06	0.22	保育サービスなどの子育て環境	3.23	3.19	3.56
		45	障がい者の自立支援	0.1	0.16	子どもの遊び場の整備状況	3.07	2.84	3.06
		46	人権擁護の推進	▲0.08	0.19	介護予防に向けた取組み	3.15	3.17	3.44
		47	住民自治の強化	▲0.08	0.16	高齢者や障がい者への福祉サービスや施設	3.11	3.21	3.37
町民とともに （開かれたまち）	51	住民自治の強化	▲0.08	0.16	高齢者や障がい者への福祉サービスや施設（再掲）	3.11	3.21	3.37	
		52	公聴広報の推進	0.08	▲0.07	犯罪・風紀などの安全	3.22	3.14	3.33
		53	情報環境の整備	▲0.15	0.13	住民参加・住民協働	3.3	3.31	3.41
		54	健全な財政運営の推進			自治会・町内会の育成、支援	3.41	3.24	3.45
		55	効率的な行政運営の推進			広報紙やホームページなどの広報	3.66	3.76	3.71
						町政懇談会など町への要望を伝える方法	3.14	3.21	3.11
						情報公開などの開かれた町政	3.09	3.04	3.12
				観光PRなどの情報発信、町外との交流の場（再掲）	3.04	2.78	2.95		
				(項目なし)					
				(項目なし)					

基本28施策に対する満足度の推移（H28→R1）

上昇：25施策 減少：1施策 回答項目無い：2施策

改訂で重点化した施策の評価

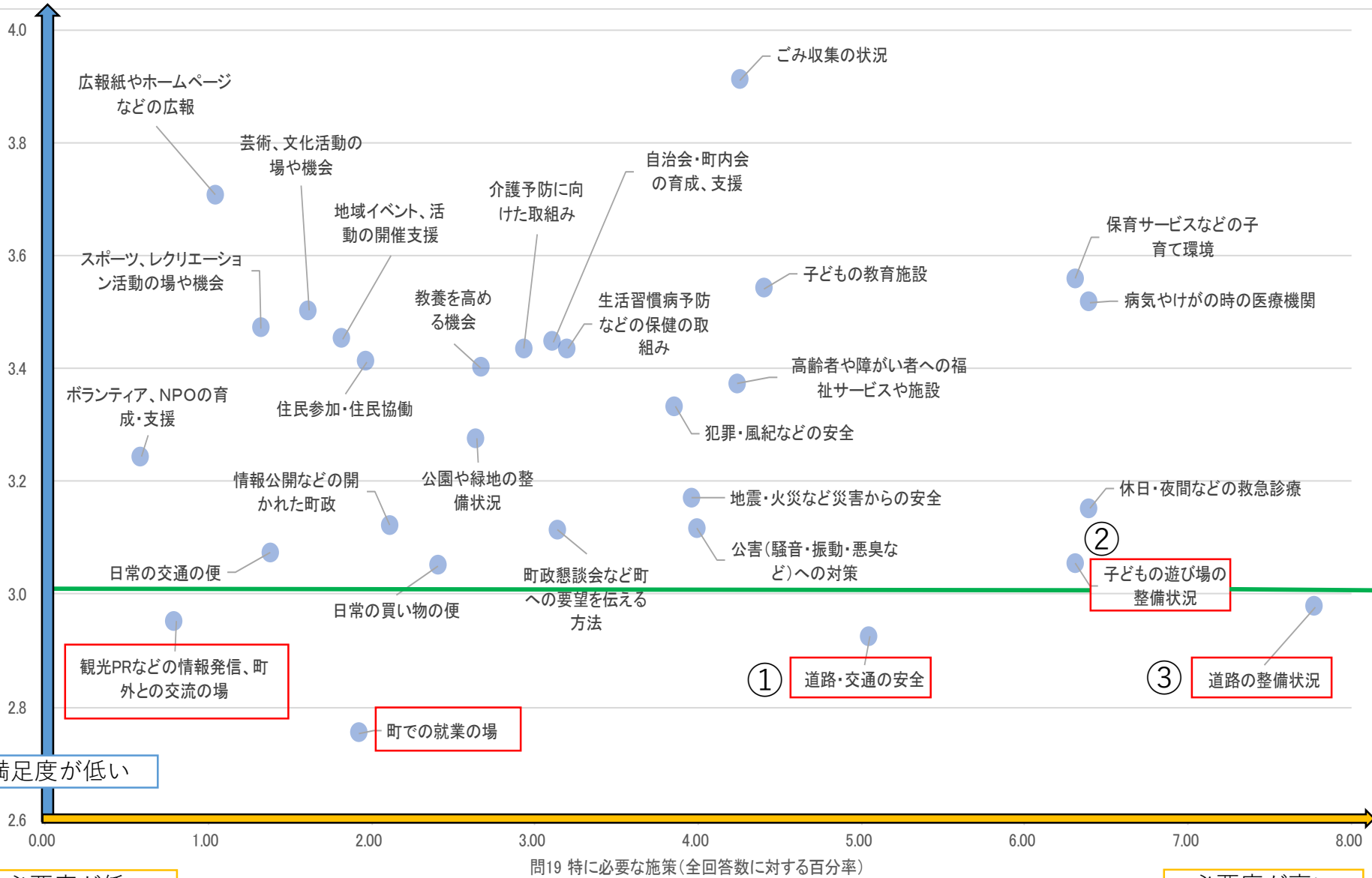
子育て、教育、高齢者福祉の分野において、全てで満足度が上昇

満足度・必要度の分布図

(R1町民アンケートより)

満足度が高い

問7-1～問7-29 満足度(指数)



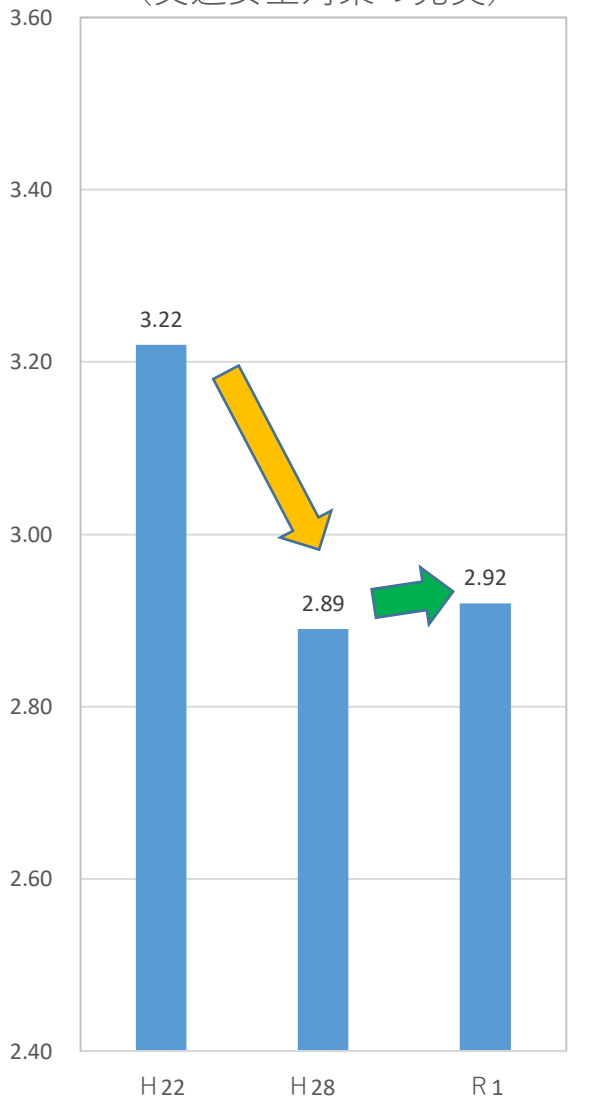
満足度が低い

必要度が低い

必要度が高い

①満足度推移（道路・交通の安全）

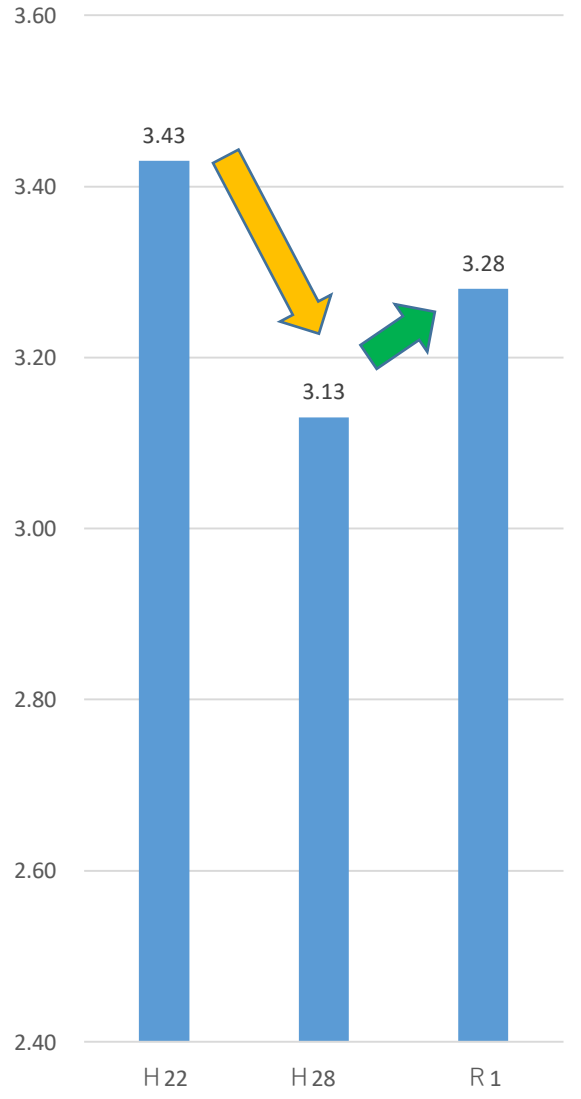
道路・交通の安全
(交通安全対策の充実)



- ・ H28では大きく下がり、R1で若干上昇しているものの依然として低い数値となっている。
- ・ 国道2号とそれにアクセスする県道は朝夕渋滞しており、抜け道として住空間に通過車両が流入している。
- ・ 通過交通が増えている中で、水路があり、道路の幅員が狭いところも多いため、自動車の運転の際に危険を感じる、歩く際に危険を感じるといった意見もみられる。
- ・ 市街地への流入を防ぐ補助幹線道路や、歩行者・自転車に安全に利用できる生活道路との機能・役割分担を進める必要があります。

②満足度推移（公園や緑地の整備状況）

公園や緑地の整備状況
(公園・広場の充実)



・ H 2 2 から大きく下がり、R 1 では増えているものの H 2 2 より低い数値となっている。

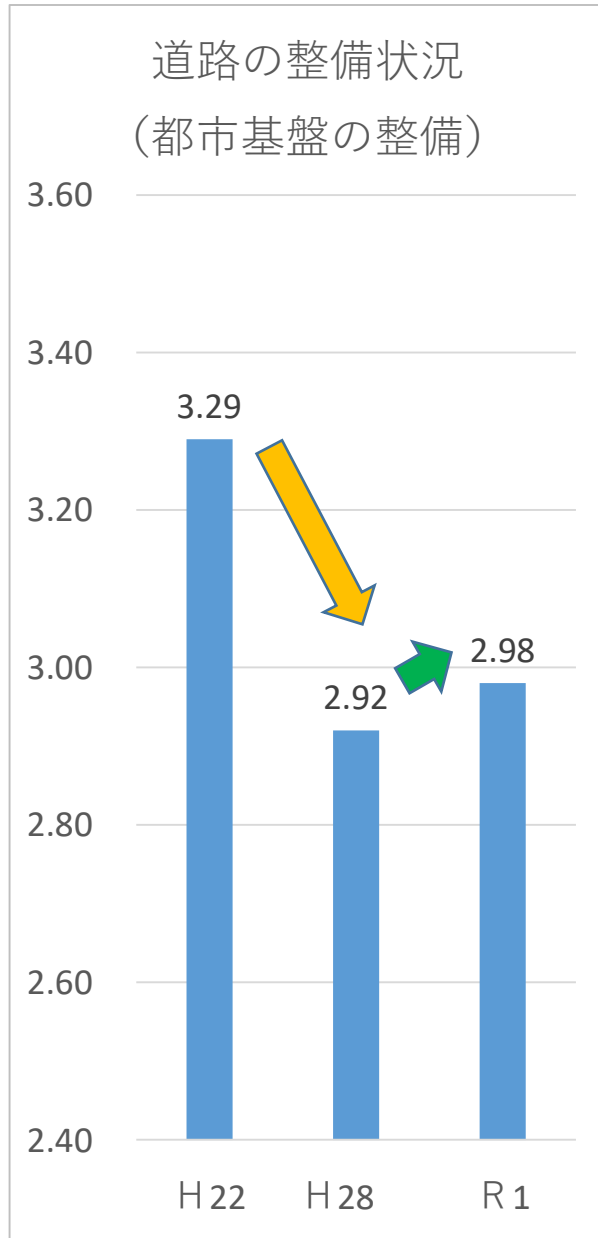
・ 町内には、早島公園やぞうさん広場、ふれあいの森公園、深砂公園といった大きい公園や団地などにある小さな公園も多数ある。

・ しかしながら、問 1 2 の 子育てを行うための重要な施策 でも、「**子どもの遊び場**」が一番多い回答となっている。

・ 自由意見でも子どもが集える公園、遊べる公園が必要という意見がみられる。

・ 公園に求められる機能・目的・役割を明確にし、利用者の満足度を高める必要がある。

③満足度推移（道路の整備状況）



- ・ H22と比較すると大きく下がり、R1で若干増えているが依然として低い数値。

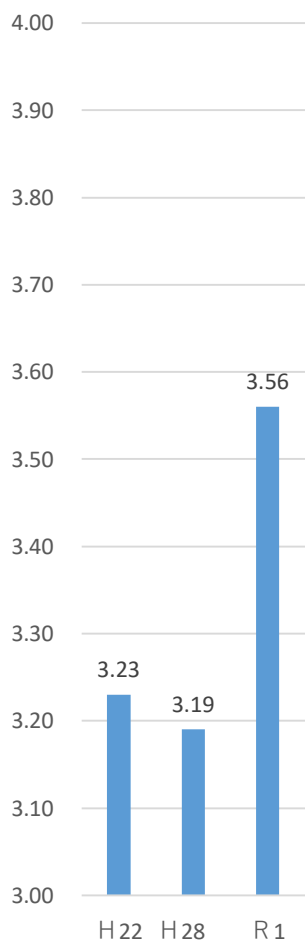
- ・ 道路の維持管理が不十分といった意見がみられる。

- ・ 道路の幅員が狭く、通過交通も増えてきており危険といった意見もみられる。

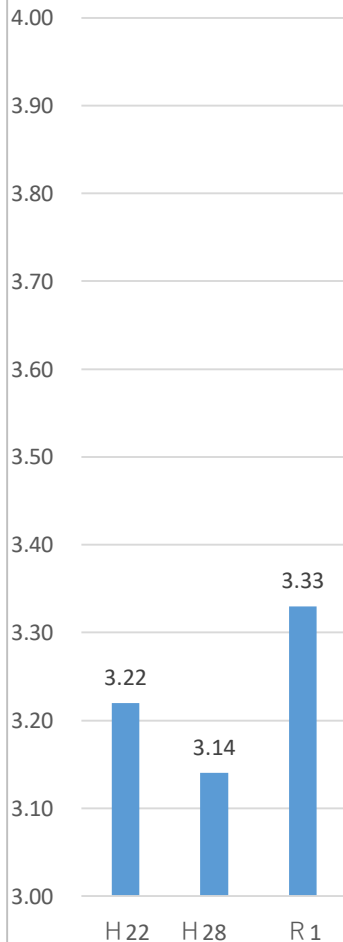
- ・ 都市基盤の整備と関連して、駅のバリアフリー化の自由意見も多くみられる。

その他の満足度推移（子育て、教育、高齢者福祉）

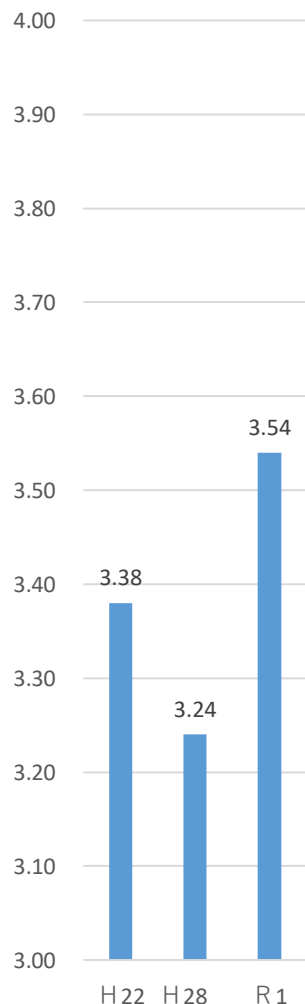
保育サービス
などの子育て
環境



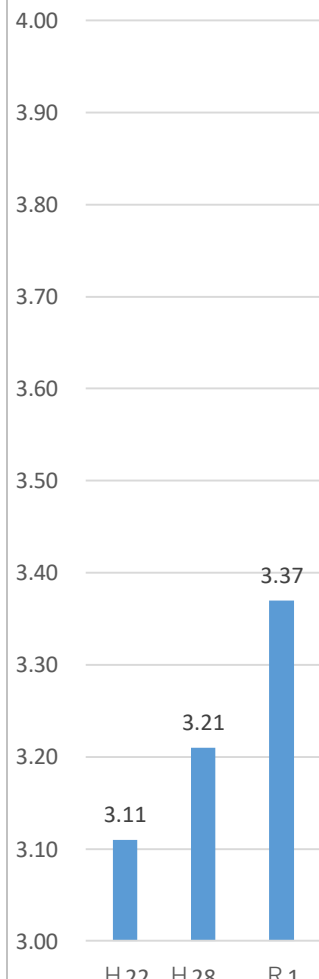
子育て支援の
充実



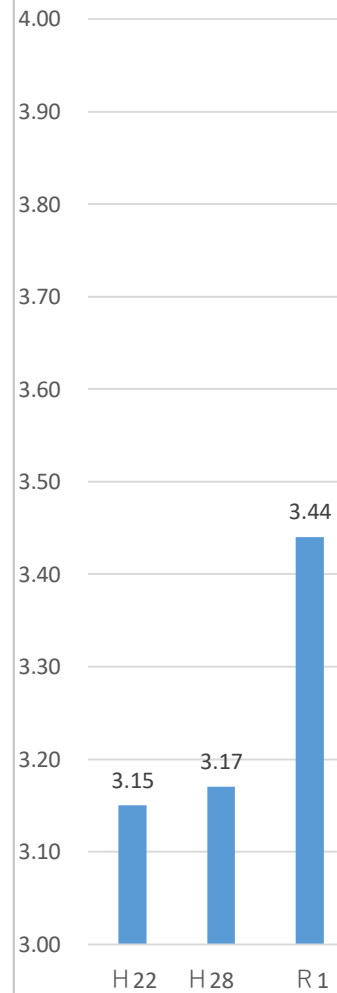
子どもの教育
施設



高齢者や障がい者
への福祉サービス
や施設



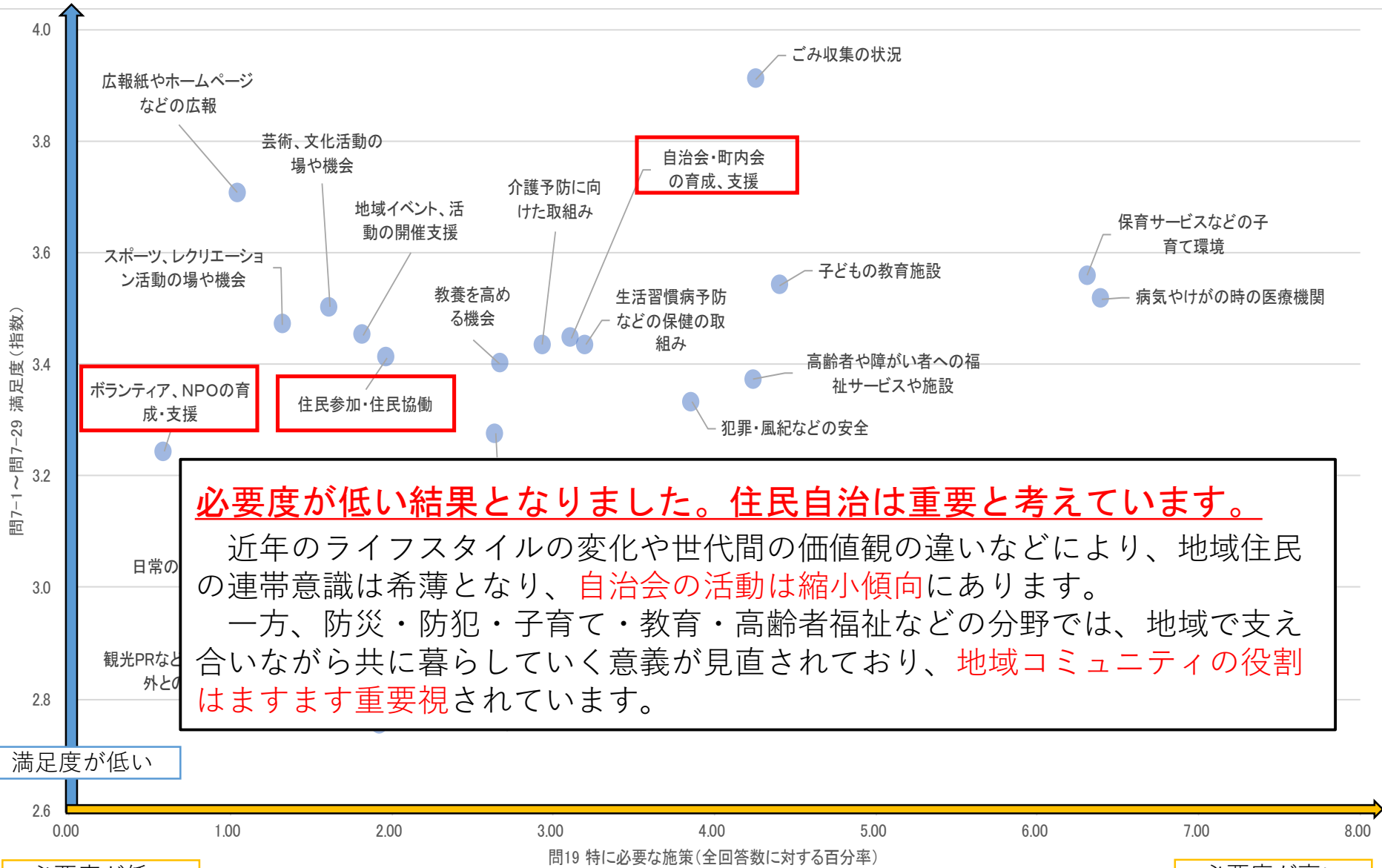
介護予防に向
けた取組み



満足度・必要度の分布図

(R1 町民アンケートより)

満足度が高い



必要度が低い結果となりました。住民自治は重要と考えています。

近年のライフスタイルの変化や世代間の価値観の違いなどにより、地域住民の連帯意識は希薄となり、自治会の活動は縮小傾向にあります。

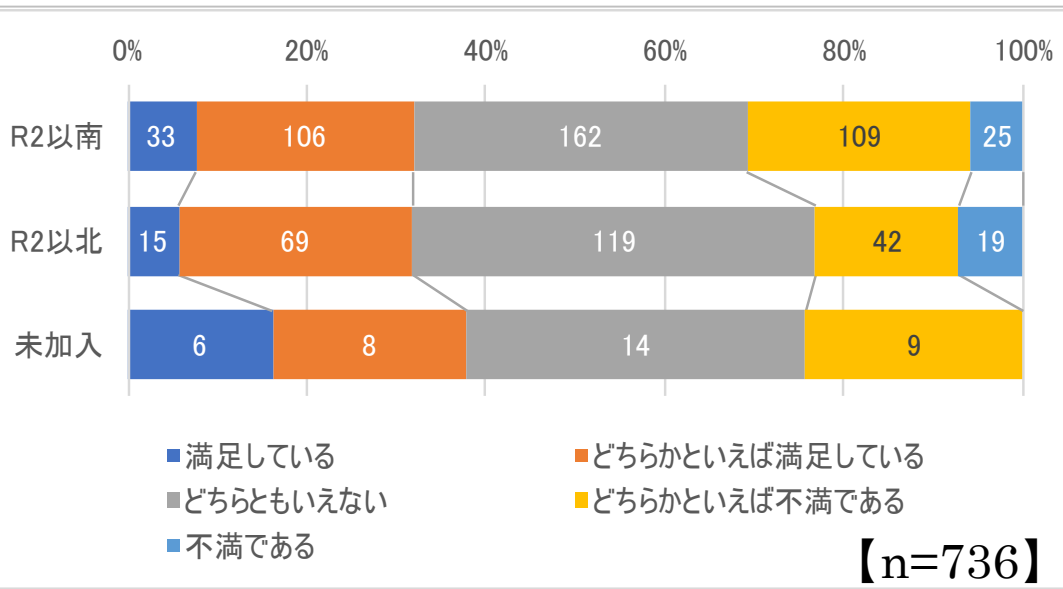
一方、防災・防犯・子育て・教育・高齢者福祉などの分野では、地域で支え合いながら共に暮らしていく意義が見直されており、地域コミュニティの役割はますます重要視されています。

満足度が低い

必要度が低い

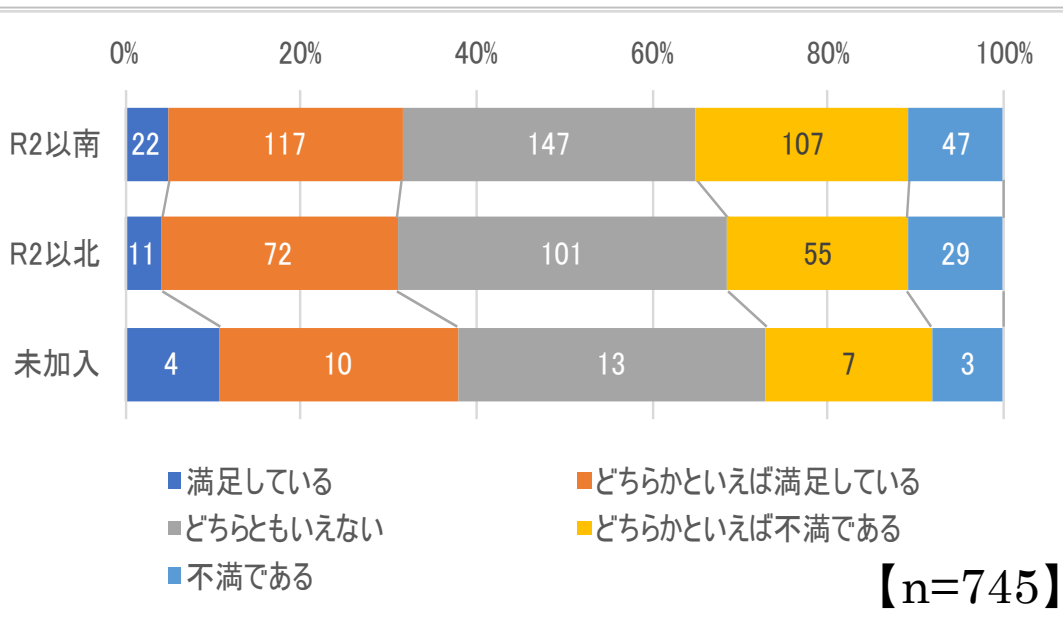
必要度が高い

問7-12 子どもの遊び場の整備状況に対する評価



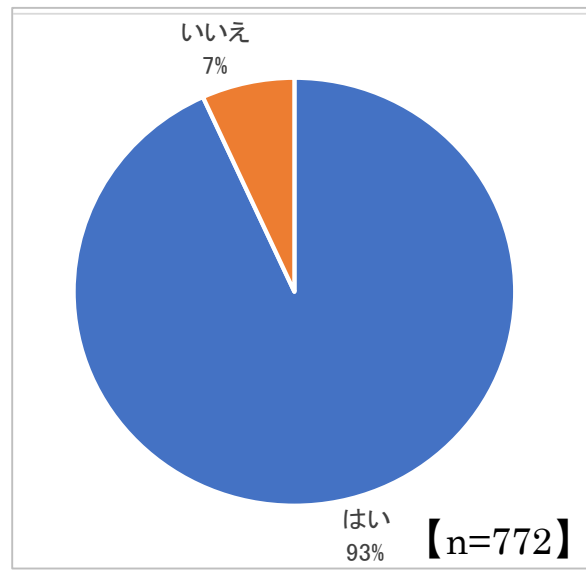
国道2号以北に比べて、国道2号以南で「どちらかといえば不満である」「不満である」の割合が高くなっています。

問7-21 道路・交通の安全に対する評価

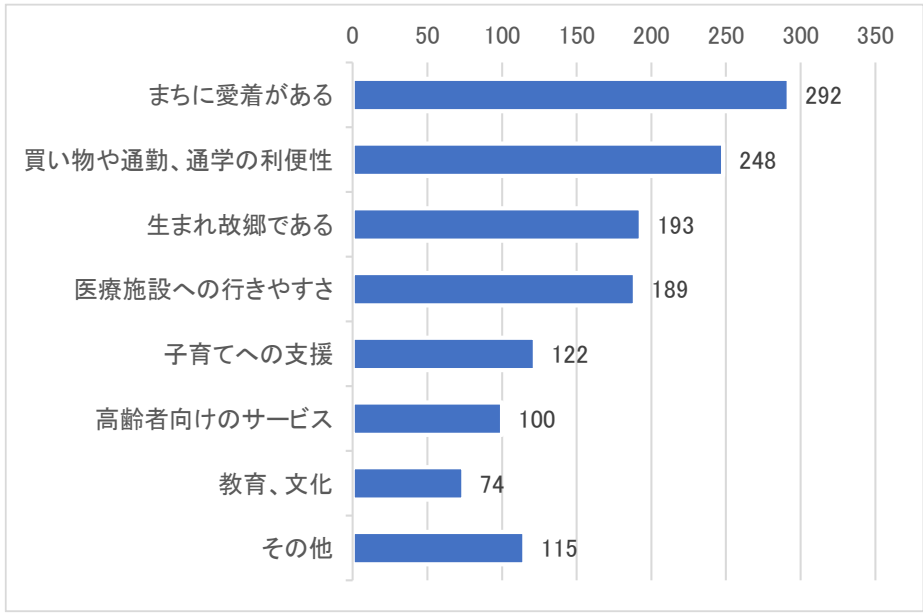


国道2号以北に比べて、国道2号以南の方で「どちらかといえば不満である」「不満である」の割合がやや高くなっています。

問6 あなたは、今後も早島町に住み続けたいと思いますか。



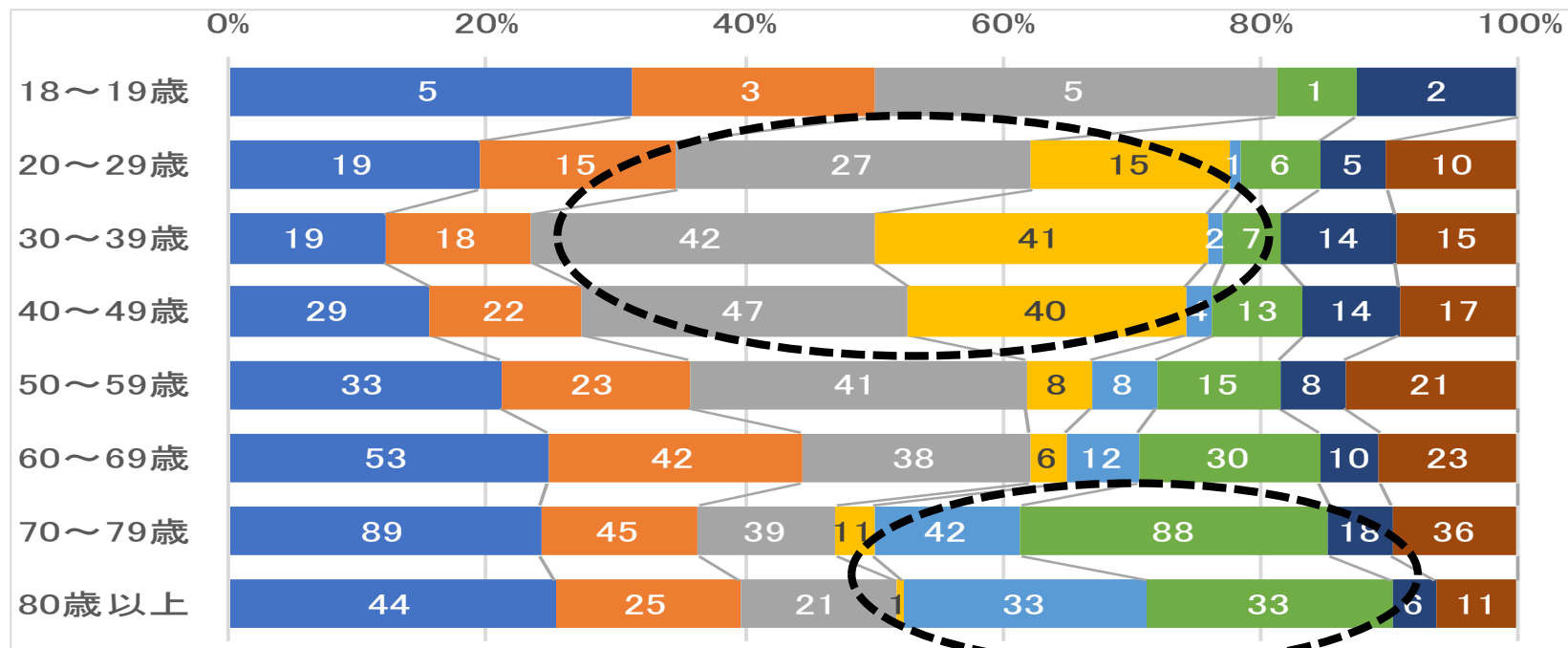
問6 - 1 《住み続けたい理由》



その他具体	
家がある（ローンがある、持ち家、建てたので）	38
住みやすい（暮らしやすい、住み心地がいい、閑静、住み慣れている）	14
家族（夫・妻の故郷、親がいる、実家がある、子どもに友人がいる）	10
他に住むところがない（年齢的に、経済的に）	9
利便性が高い（自動車交通、鉄道駅、バス、公共施設など）	8
コミュニティや近所づきあいがよい（仲良くしている）	3
仕事の都合	3
災害が少ない	2
特に不便はない（全てに近隣の市に比べてよい）	2
病院への入所のため	1
転居が面倒	1
立地がよい	1
将来への魅力がある	1
税金が安い	1
役場の人が親切	1
なんだか好き	1
特にない	3
総計	99

【複数回答】

住み続けたいと思う理由 年齢別



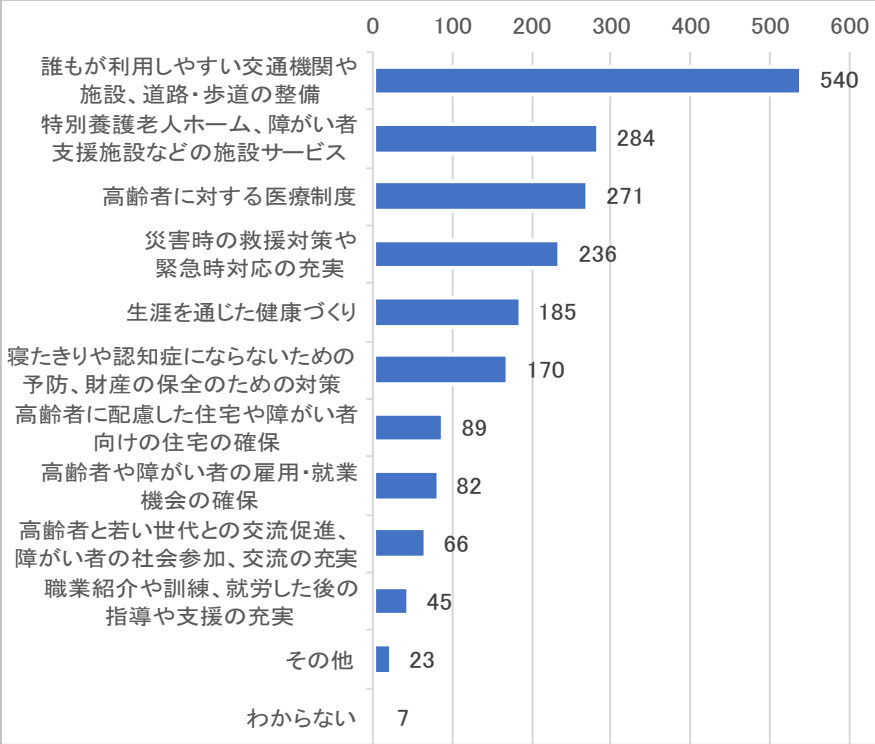
- まちに愛着がある
- 生まれ故郷である
- 買い物や通勤、通学の利便性
- 子育てへの支援
- 高齢者向けのサービス
- 医療施設への行きやすさ
- 教育、文化
- その他

20～40歳代で「買い物や通勤、通学の利便性」「子育てへの支援」の割合が高くなっており、特に「子育てへの支援」は若者の定住・移住促進に重要な施策と考えられます（若い世代の呼び込みが期待できる施策）。

70歳以上では「高齢者向けのサービス」「医療施設への行きやすさ」の割合が高くなっている反面、「買い物や通勤、通学の利便性」が低くなっています。自家用車から公共交通に移行する人も増え、利便性を感じなくなっていることも考えられます。

問11 高齢者や障がい者が安心して暮らすため、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

【複数回答】

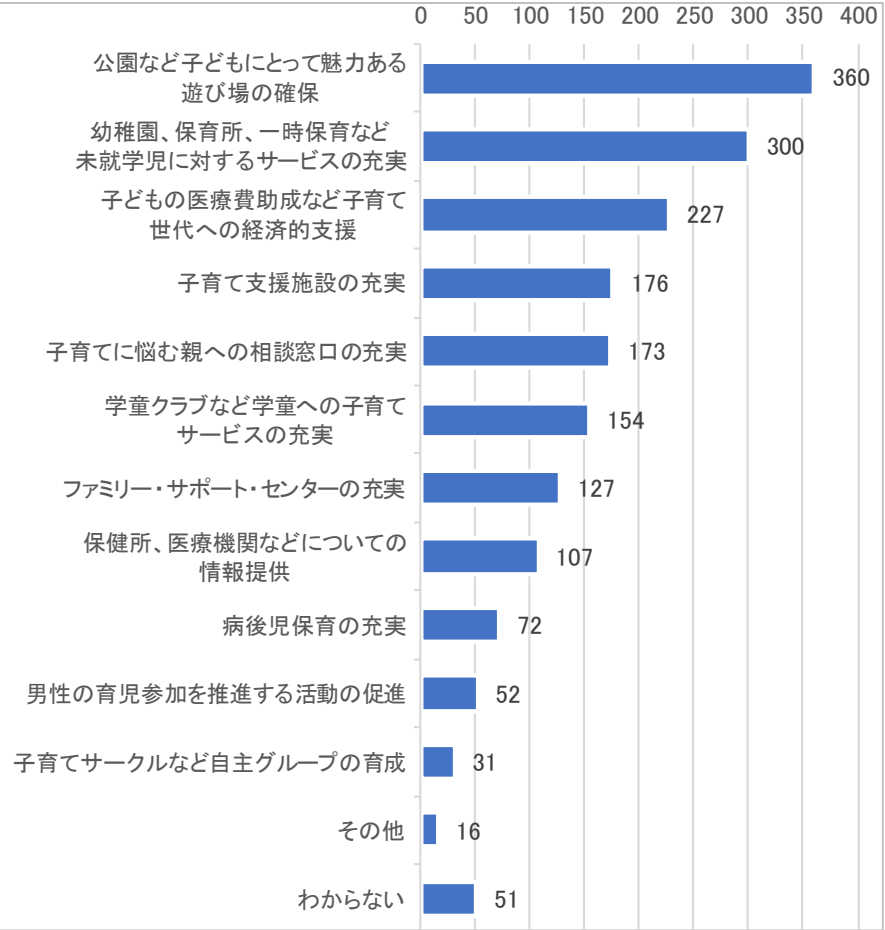


その他具体	
買い物支援や店の充実	2
空き家対策（解体整備など）	2
高齢者や障がい者に対する認識を高める意識を変えること	1
若年から中高年向けの高齢者障害者への理解自分の身内が困る将来への備えの必要性の認識等、そのための適切な情報発信	1
障害者が生活していける給与がもらえる会社を誘致	1
高齢者、障がい者に対する施策より若者に対する施策を充実すべき	1
健全者や若い世代に押し付けない施策	1
介護する側の交流意見交換や情報交換	1
介護保険サービスの充実	1
コミュニティバスを中庄駅まで	1
スポーツジムの充実	1
安い所の住みたい家	1
災害等で小学校まで避難するのは足がついていきません真磯の公民館の方が安全	1
支援者のフォローの充実	1
車があれば便利な町だが、なければ不便な町	1
税金が高いと思う。生活が成り立つことが大事	1
早島駅のエレベータ化、南口設置	1
現状に満足	1
総計	20

「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が最も多く、次いで「特別養護老人ホーム、障がい者支援施設などの施設サービス」、「高齢者に対する医療制度」が多くなっています。自由意見では早島駅のバリアフリー化の要望も多々あります。

問12 安心して子育てを行うため、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

【複数回答】

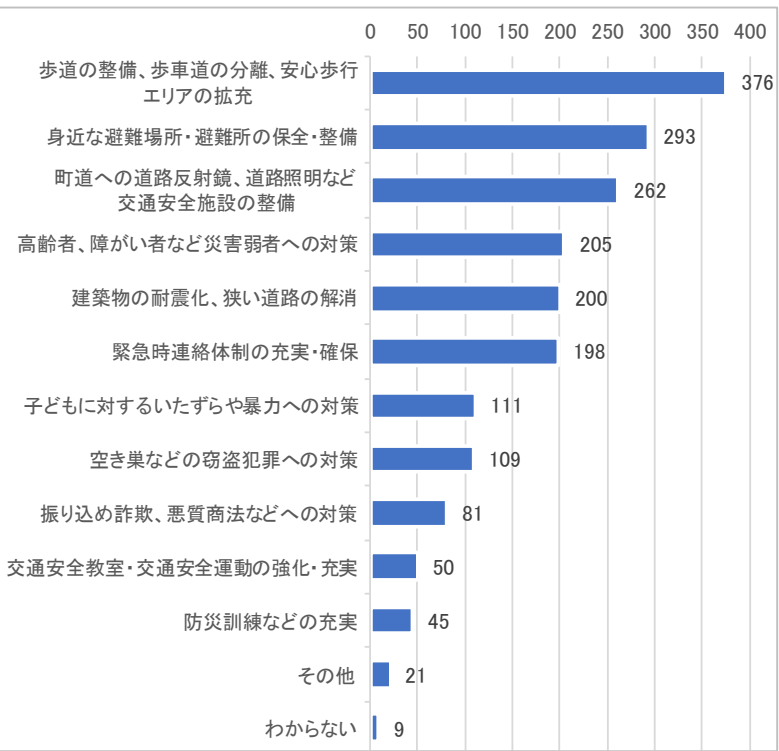


その他具体	
高校大学の誘致	1
先生のレベルアップ	1
高齢者と幼児の交流促進	1
塾の学童を作ってほしい	1
周辺に放置の子が多いので親の意識を改善できるよう指導	1
色々な職種、業種の人による意見交換	1
聴覚障害があり集まりが町内ではなく倉敷に参加していたので、充実していたらと思う	1
病児保育	1
通学路の確保自転車道路の整備	1
世代間交流が常態化できる組織、場の確立	1
空き家利用	1
公園のメンテナンス	1
防火水槽や川の落下防止対策	1
コミュニティバスを中庄駅まで	1
総計	14

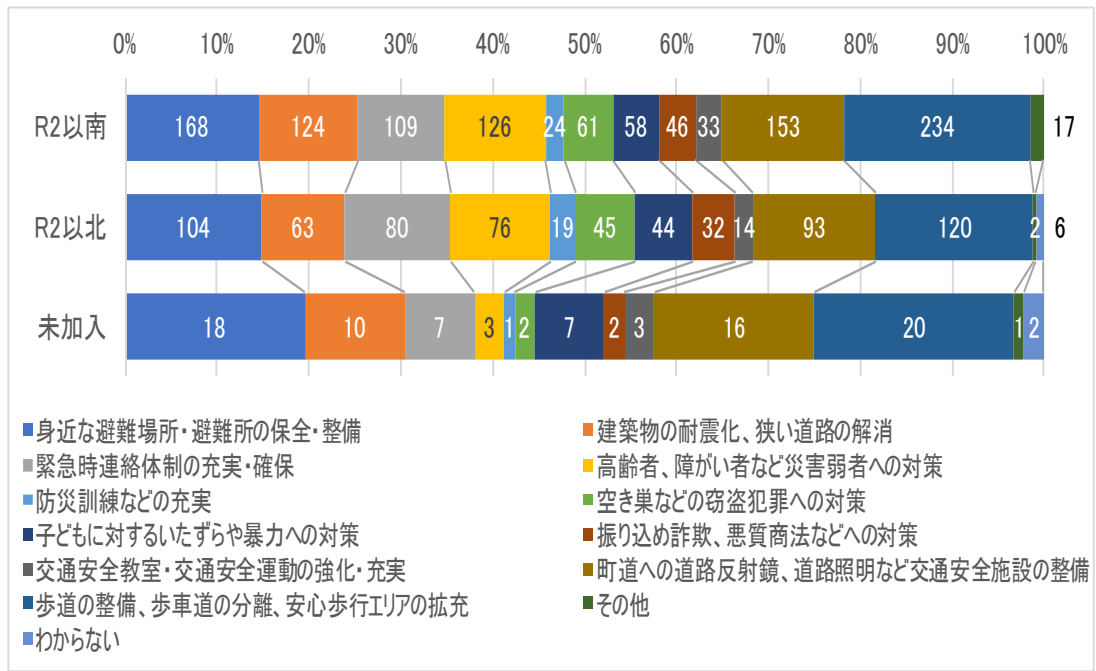
「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が最も多く、次いで「幼稚園、保育所、一時保育など未就学児に対するサービスの充実」が多くなっています。子どもの遊び場や児童館などが求められていると考えられます。

問15 安全・安心なまちづくりを進めるうえで、あなたは町がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

【複数回答】



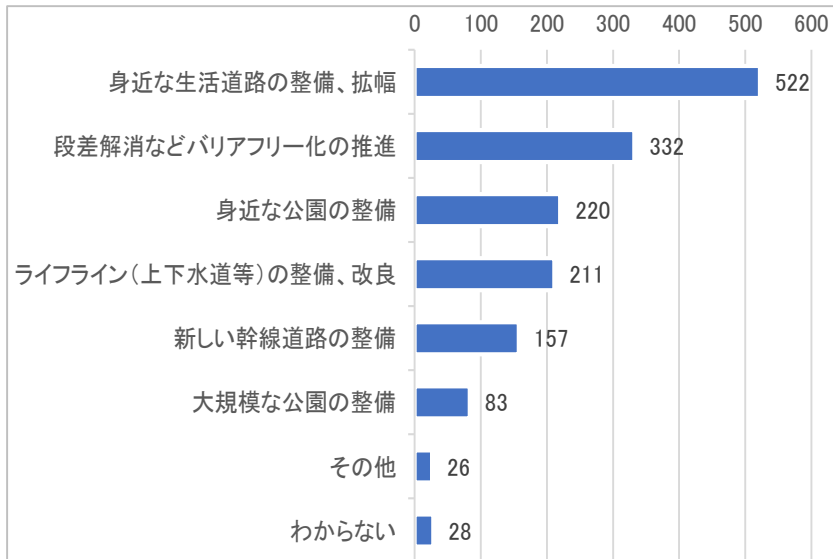
地域別



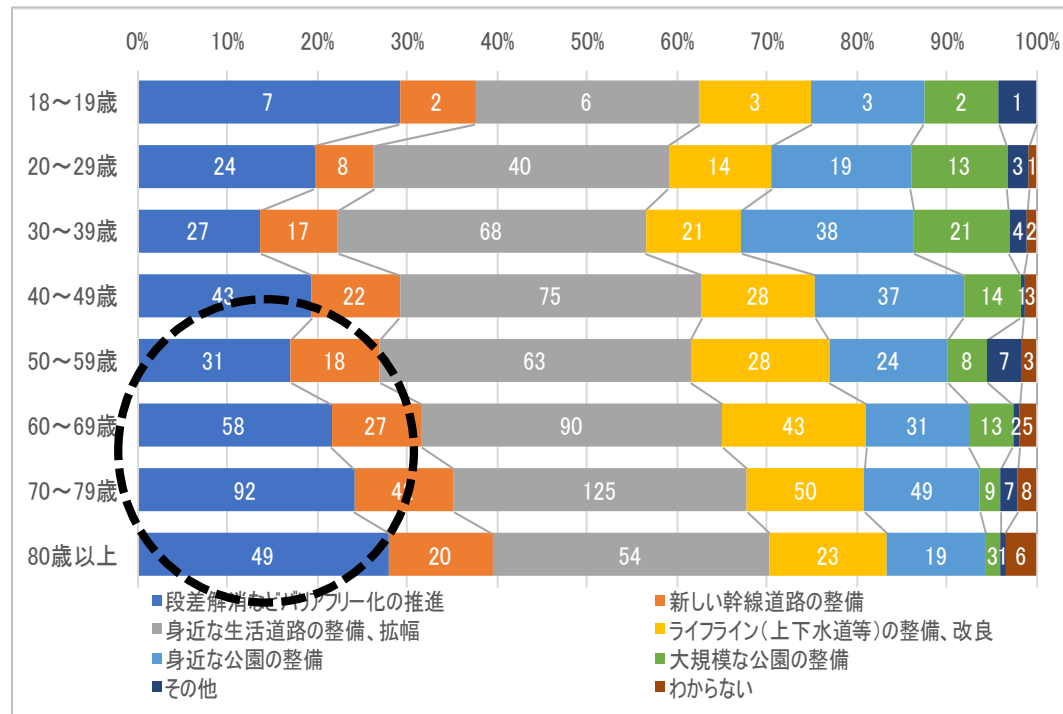
「歩道の整備、歩車道の分離、安心歩行エリアの拡充」が最も多く、次いで「身近な避難場所・避難所の保全・整備」、「町道への道路反射鏡、道路照明など交通安全施設の整備」が多くなっています。

問16 今後どのような都市基盤の整備を推進すべきだと思いますか。

【複数回答】



年齢別



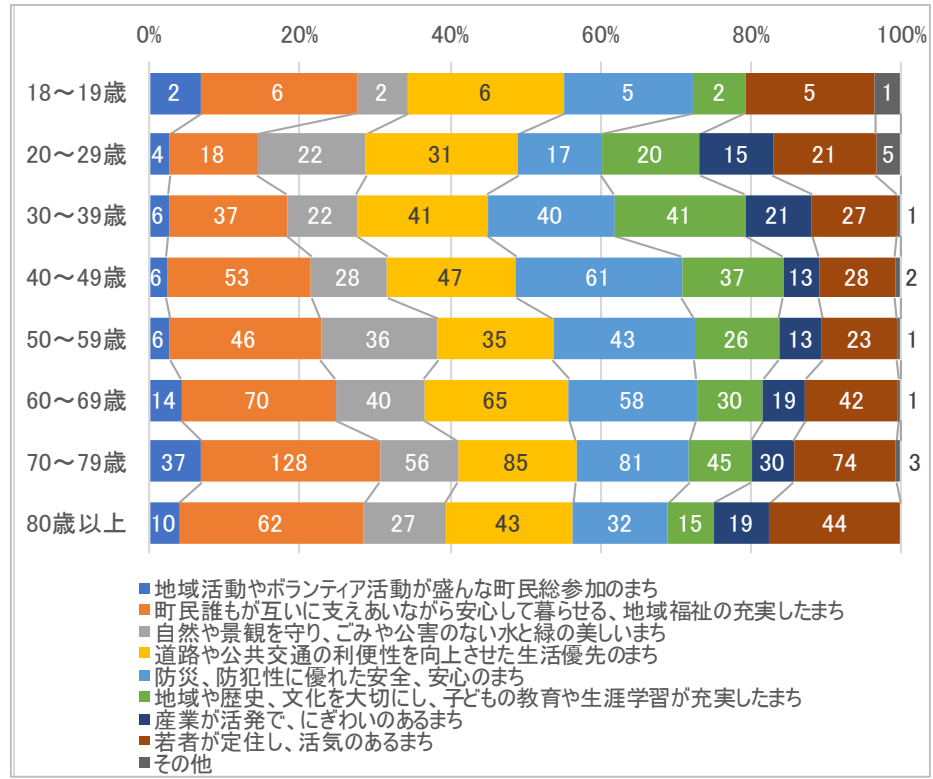
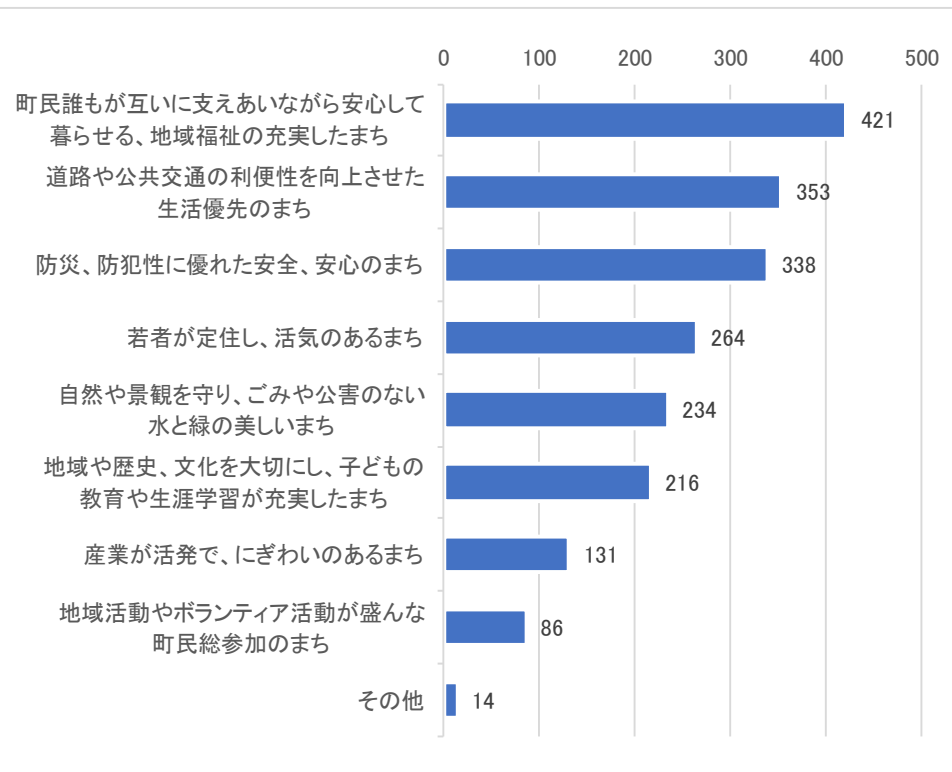
「身近な生活道路の整備、拡幅」が最も多く、次いで「段差解消などバリアフリー化の推進」が多くなっています。

高年齢ほど「段差解消などバリアフリー化の推進」の割合が大きくなる傾向があります。

問20 今後早島町がどのように発展することが望ましいと思いますか。

年齢別

【複数回答】



「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が最も多く、次いで「道路や公共交通の利便性を向上させた生活優先のまち」、「防災、防犯性に優れた安全、安心のまち」が多くなっており、「福祉の充実」、「道路、公共交通の利便性」、「防災、防犯」が望まれています。

アンケート結果から町が考える課題など

■評価できる点

- ・ 定住意向は93%と非常に高い
- ・ 生活環境の満足度も上昇している
- ・ 人口も社人研推計と大きく乖離して増加

■課題

- ・ 道路の整備と交通安全の確保（まち中から車を排除）
- ・ 幼児（親子）や子どもの遊び場の確保（憩いと安らぎ空間の提供）
- ・ だれもが利用しやすい公共交通の整備（移動しやすいまち）
- ・ 住民自治の強化（地域で支え合いながら共に暮らす）



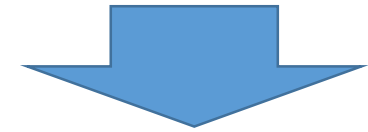
一定程度の満足は得られているが、
「安全・安心で、より質の高い生活環境の実現」
を求められている

(4) 今後の進め方
(次回審議会について)

今後の進め方

■第2回振興計画審議会として開催予定（11月頃）

第2回振興計画審議会



- アンケートの満足度指数
（町民）
- 第1回審議会の結果報告
（審議会）
- 庁内での効果検証結果報告
（役場）



3つの目による
総合的な評価から
《目指すまちの姿》
を考えていく

今後のスケジュール（策定の流れ）

